

第5回総極真

関東空手道選手権大会開催のご案内

2019全日本ジュニアチャンピオンシップ選抜大会

謹啓、時下益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜りまして深く感謝し、御礼申し上げます。

去る2月4日「エスフォルタアリーナ八王子」にて第4回総極真関東空手道選手権大会を多くの皆様のご支援のもと開催することができました。本大会は例年通り、青少年クラスの上位入賞者は12月に行われる「全日本ジュニアチャンピオンシップ」の出場権利が獲得できる選抜大会として開催されることになりました。初級者の挑戦、経験を積む機会として初級カテゴリーも併設されております。幼児から大人まで多くの道場生に奮って参加して頂きたく、ここにお願い申し上げます。

謹白

〔開催日時〕 平成31年2月3日（日） 開場8：20 開会式9：20 試合開始10：00
〔試合会場〕 エスフォルタアリーナ八王子 メインアリーナ 八王子市狭間1453-1（京王線狭間駅すぐ）

〔主催〕 社団法人 国際空手道連盟極真会館 世界総極真

〔主管〕 世界総極真 東京都 志優会

〔後援〕 八王子市教育委員会、月刊フルコンタクト KARATE マガジン、八王子 FM

〔大会ルール〕 国際空手道連盟ルールに準ずる（別紙参照）

〔出場料〕 6000円 ※出場クラス（階級）は別紙出場カテゴリー参照

〔表彰〕 優勝・準優勝・3位（クラスによっては3位決定戦を行い4位まで）

〔注意〕 全日本ジュニアチャンピオンシップ権利獲得は（選抜）と表記されたカテゴリーが対象になります。

※ジュニア部門、一般部門の初級クラスで入賞しても上記大会の出場権利獲得にはなりません。

※出場案内書の最後に道場連絡先メールアドレス記入欄を設けました。お手数ですが必ず記載下さい。

※フリーの参加は受付できません。必ず所属道場を明記してお申し込み下さい。

〔申込先〕 〒192-0916 東京都八王子市みなみ野4-33-1-107

（社）国際空手道連盟極真会館 世界総極真 志優会 大会事務局 TEL&FAX 042-638-8835

出場申込書と出場料を添えて各団体、各道場一括にて上記まで現金書留にて郵送下さい。

〔申込締切〕 **平成30年12月3日（火）必着** 道場内提出締切 月 日

※3日締切以降の申込みは一切受付できません。前回、やむなくお断りした道場がありました。期日は遵守願います。また、申し込み後はキャンセル、欠場など理由の如何に関わらず、出場料の返金はできません。

※締切後に受付済みの出場者名簿をホームページに掲載しますのでご確認頂き、変更、誤りがある場合は、

12/15（土）までに連絡して下さい。 大会に関する連絡先 kyokushin-shiyuukai@outlook.jp

出場カテゴリー及び注意点など

①(選抜)と表記されたクラスがチャンピオンシップ選抜クラスになりますので、上級者または出場権利獲得希望者は帯(初級)に関係なく、このクラスに出場して下さい。(既に権利獲得者も同様)

※今大会で入賞した者が既に権利獲得をしている場合は、ベスト8から繰り上げで権利獲得ができる場合があります。

詳しくは大会後日に世界総極真チャンピオンシップ専用ホームページをご確認下さい。

<http://sokyokushin-junior-championship.jimdo.com/>

②体重区分のある階級に出場する場合、ウエイトオーバーにならないように注意して申込み下さい。

※未満はその数字を含まず、以上、以下というのはその数字を含みます。

【例】50kg未満→49.9kgまで、50kg以上→50kgの選手も可 軽量級の選手が重量級に出場することは可。

③男女共に軽・中量級選手(重量級除く)は大会当日の選手受付時に体重測定を行います。高校生以上の女子は体重非公開とし、プログラムには掲載しませんが、申込書には必ず実測体重をご記入下さい。

尚、ウエイトオーバーの場合、999gまでは注意1、1kg以上～2.9kgは減点1からのスタートになります。

(本戦、延長戦を含み、全試合に適用)3kg以上オーバーで失格となりますのでご注意下さい

④出場申込み状況により、クラスの統廃合(リーグ戦、ワンマッチやクラス不成立)になる場合がありますので予め了解のもとに申し込んで下さい。統廃合の場合は団体代表者にできるだけ早い段階で連絡を致します。

(万一、不成立の場合のみ出場料を返金致します)

⑤高校女子はチャンピオンシップに追加されたため、設定をしましたが、一般女子にエントリーも可能です。

⑥シニアの年齢について **男子は38歳以上、女子は35歳以上からシニア**とします。

(上記年齢の人でも、希望すれば一般クラスに出場は可能です)

⑦昇級などで帯が変わるとカテゴリーが変わってしまう場合があります。申込みから大会当日までに昇級する可能性がある対象選手は混乱、誤解を避けるため、大会当日は必ず申込時の帯で出場して下さい。

※中学・高校生、一般、シニアの初級は5級以下です。(クラス、学年を間違えて記入した場合は失格です)

【全日本選抜(上級)クラス】	【全日本選抜/上級クラス】	【上級クラス/初級クラス】	【初級クラス】
幼年 男女混合(選抜)	小学6年生女子(選抜)	シニア男子上級重量70kg以上	小学5年生男子初級5級以下
小学1年生男子(選抜)	中学生男子上級軽量50kg未満(選抜)	シニア女子上級	小学5年生女子初級5級以下
小学1年生女子(選抜)	中学生男子上級中量60kg未満(選抜)	※シニア男子38才以上、女子35才以上	小学6年生男子初級5級以下
小学2年生男子(選抜)	中学生男子上級重量60kg以上(選抜)	【初級クラス】	小学6年生女子初級5級以下
小学2年生女子(選抜)	中学生女子上級軽量50kg未満(選抜)	幼児年中 初級男女混合(入賞歴なし)	中学生男子初級5級以下
小学3年生男子(選抜)	中学生女子上級重量50kg以上(選抜)	幼児年長 初級男女混合(入賞歴なし)	中学生女子初級5級以下
小学3年生女子(選抜)	高校生男子上級軽量65kg未満(選抜)	小学1年生男子初級9級以下	高校男子初級5級以下
小学4年生男子(選抜)	高校生男子上級重量65kg以上(選抜)	小学1年生女子初級9級以下	一般女子初級(高校生含む)
小学4年生女子(選抜)	一般女子上級(高校以上)軽量55kg未満	小学2年生男子初級8級以下	一般男子初級軽量67kg未満
小学5年生男子軽量36kg未満(選抜)	一般女子上級(高校以上)重量55kg以上	小学2年生女子初級8級以下	一般男子初級重量67kg以上
小学5年生男子重量36kg以上(選抜)	一般男子上級軽量67kg未満	小学3年生男子初級7級以下	シニア男子初級軽量70kg未満
小学5年生女子(選抜)	一般男子上級中量77kg未満	小学3年生女子初級7級以下	シニア男子初級重量70kg以上
小学6年生男子軽量42kg未満(選抜)	一般男子上級重量77kg以上	小学4年生男子初級6級以下	シニア女子初級
小学6年生男子重量42kg以上(選抜)	シニア男子上級軽量70kg未満	小学4年生女子初級6級以下	

※出場人数によってはクラス増設、統廃合される場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご不明な点は大会実行委員長 新津までお問い合わせ下さい090-3408-1193

※幼児(選抜含む)・小学生初級は安全性を考慮し、上段ヒザ蹴りなし。当てた場合は反則になります。(中学生以上は初級でも有効)

※チャンピオンシップでは小学生の上段膝蹴りが認められているため、今大会から選抜クラスの小学生は上段膝蹴りを有効とします。

勝 敗 ・ 判 定

一本勝ち ・ 判定勝ち ・ 相手の失格又は棄権によって勝敗が決定する。

[一本勝ち]

- 反則箇所を除く部分へ突き、肘打ち、蹴りなどの攻撃を決め、相手をダウンさせるか、戦意喪失をさせた場合
※高校生以上、一般部の試合は相手をダウンさせて3秒以上立ち上がれない場合は一本となる。
- 技ありを2回とった場合は合わせ一本勝ちとする。
※幼年～小学生の試合においてダメージや泣いて試合続行が不可能と主審が判断した場合は一本とする。
※試合中に嘔吐や自傷行為(肉離れや技を仕掛けた自分がダメージを負うなど)により続行不可能であると主審が判断した時

[技 あり]

- 上段の蹴り技がノーガードの相手にクリーンヒットした場合(小中学生) 高校生以上はダメージや体勢の崩れで判断する。
- 反則箇所を除く部位に、一本には至らないが、明らかなダメージによって相手の動きが止まったり、体勢が大きく崩れた場合。
- 下段への足掛け、前蹴り(スリップダウンは除く)などで相手が宙に浮き、背中から落ちた場合。(小中学生)
- 高校生以上は足掛けで転倒させた場合、下段突きをタイミング良く決めなければ技ありにならない。
※幼年～小中学生は上段の蹴り技がかすただけ、ガードの上からの蹴りは技ありになりません。
※自傷行為(肉離れや技を仕掛けてブロックされ自分がダメージを負うなど)もダメージと判断し技ありとなる場合があります。

[判 定]

一本勝ち、失格がなく、試合終了時間となった場合は5名の審判員のうち3名以上の旗上げを有効とし、判定勝ちとする。判定で勝敗が決まらない場合は延長戦を行う。

判定優先順位 一本 > 技あり > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性(気迫)

※最終延長(マスト)の場合は反則の注意1が判定に影響します。(本戦は減点がない限りは影響しません)

[反 則] 注意1⇒ 注意2(減点1) ⇒ 注意3 ⇒ 注意4 (減点2失格)

- 顔面、または首への手、肘による攻撃
 - 頭突き、金的・膝関節への蹴り
 - 背後から、倒れた相手への攻撃
 - つかみ、つかんでからの攻撃、投げ
 - 抱え込み、手を掛けての攻撃
 - 掌底押し、正拳を残したままの押し
 - 相手の体に頭や胸をつける、手で抑える
 - 技のかけ逃げ(蹴って倒れて時間をかせぐ)、故意に場外に出る
- その他、悪質と見なされる行為、試合態度などを反則行為とし、その程度に応じて「注意」「減点」「失格」となる場合がある。
※反則による深刻なダメージを相手選手が負った場合、審判団が協議の上、1回で減点または失格となる場合がある。

[失 格]

- 減点を2回重ねたとき
- 試合時間に遅れたとき
- 審判員の指示に従わないとき
- 体重制限のある階級で規定体重を超えていた場合
- 悪質な振る舞いや試合態度をとった場合
- 審判団の判定に対して正統性のない抗議、不服を申し出た場合

[判定への影響～技ありと反則の関係性～]

判定に影響しない	判定に影響する	技 あり	一 本
反則1回→注意1	反則2回→注意2	反則3回→注意3	反則4回→注意4
最終延長の場合は注意1も影響する	減点1となり優勢でも負け	同等ではなく、技ありがやや重い	減点2 失格(一本負け)

【 試合時間 】 別紙参照 一般上級のみ、延長2回→体重判定 準決勝より本戦3分となります。